

科目名	臨床心理学研究法特論			ナンバリング	858060	授業形態	0
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	窪田文子〇	担当教員					

授業の概要	研究は、臨床心理士に求められる4つの業務の一つとして臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助と並んで位置づけられている。本授業では、心理臨床における実践研究について実際的な理解を深めることを目的とする。具体的には実践研究の意義や事例研究を中心としたさまざまな研究方法について解説する。						
到達目標	1. 心理臨床実践における実践研究の意義について説明できる。 2. 心理臨床実践についての研究で用いられているさまざまな研究方法について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	大学院での学びは、基本的には主体的な学びです。また、臨床心理学専攻における学びは実践に収束する学びであることをよく理解し、臨床心理実践との関連を常に意識して、自ら問いを発見し自らそれを明らかにする姿勢で取り組んでください。						
ディプロマポリシーとの 関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
	○	1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
		2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
		3. 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
	○	4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
		5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 臨床心理実践における研究の目的について最低1つ述べることができる。 2. 臨床心理実践における研究で用いられる研究方法について説明できる。	1. 臨床心理実践における研究の目的についていくつか挙げることができる。 2. 臨床心理実践における研究で用いられる研究方法について比較しながら特徴を説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
予習レポート	○	○			○		25%
復習レポート	○	○			○		25%
最終レポート	○	○			○		25%
授業中の質問・ディスカッションへの参加		○	○	○			25%

課題、評価のフィードバック	毎回提出を求めるレポートについては、個別にコメントする。
---------------	------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	心理臨床における研究	心理臨床における研究の目的や役割について解説する。	
	第2回	臨床心理学研究の理念と課題	臨床心理学研究で用いられる研究法について、それぞれの目的や特徴を解説する。	
	第3回	事例研究法1	心理臨床活動の個別性を記述する事例研究法の意義と、事例研究の進め方について解説する。	
	第4回	事例研究法2	心理臨床活動の個別性を記述する事例研究法の意義と、事例研究の進め方について解説する。	
	第5回	事例研究法3	心理臨床活動の個別性を記述する事例研究法の意義と、事例研究の進め方について解説する。	
	第6回	事例研究法の実際1	事例研究法を用いた研究論文を講読し、事例研究法の実際を理解するとともに、その特徴を伝統的な研究法と比較検討する。	
	第7回	事例研究法の実際2	事例研究法を用いた研究論文を講読し、事例研究法の実際を理解するとともに、その特徴を伝統的な研究法と比較検討する。	
	第8回	臨床心理面接の効果研究の現状1	効果研究法の方法について解説する。	
	第9回	臨床心理面接の効果研究の現状2	効果研究法の方法について解説する。	
	第10回	臨床心理面接の効果研究の現状3	心理療法の過程研究の視点や手法について解説する。	
	第11回	臨床的記述研究	現象学的方法についてその意義と方法を解説する。	
	第12回	臨床的記述研究	生態学的方法についてその意義と方法を解説する。	
	第13回	調査研究	心理臨床における調査研究の意義と方法を解説する。	
	第14回	実験研究	心理臨床における実験研究の意義と方法を解説する。	
	第15回	まとめ	これまでの講義を総括し、心理臨床における研究の意義や研究法についてディスカッションする。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		授業は 毎回指定された部分を受講生で分担してレポートし、それを基にディスカッションを行う。		
授業外学習の指示		分担した部分を熟読し、ポイントをまとめてレポートを準備すること。他の受講生のレポートには質問や意見を述べ、積極的に取り組むこと。授業後は、内容を振り返り、不明なところは調べるなどして明らかにすること。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	教科書を使用しない。
参考書	丹野義彦編(2004) 臨床心理学全書5: 臨床心理学研究法 誠信書房 下山晴彦・丹野義彦編(2001) 講座 臨床心理学2 臨床心理学研究法 東京大学出版会
参考URLなど	
その他	